



碧南ロータリークラブ週報

第2446回例会 平成21年2月25日(水)

- 会長 平岩統一郎 ●幹事 長田 豊治 ●会場監督 木村 徳雄 (SAA) 2008-2009年度 国際ロータリーのテーマ
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 長田和徳・岡本明弘・角谷 修・黒田泰弘



● 齊唱

ロータリーソング「ロータリー讃歌」

● 本日のメニュー

雛祭り弁当 とんがり帽子

● 本日のお客様

碧南市教育文化振興課長 石原好実氏



石原好実氏

会員増強推進者バッチ伝達

新美宗和君



マルチプルポールハリスフェロー認証状伝達

奥谷弘和君



ポールハリスフェロー認証状伝達

榎原 健君・杉田 茂君



会長挨拶

最近、金曜日には工場とかが臨時休業する会社が増えてきましたので大変、道が空いています。非常に調子がいいと感じます。それだけ、景気は悪いと思われます。

金土日と三連休になりまして、奥様から旅行に行けるとか、温泉に行きましょうと、ねだる方も沢山みえるようで、景気の方も4月が底で5月位から徐々に回復すると言っていますけど、どう

なるかは不透明であります。

今回は恐慌のような形で、アメリカから来ました。1929年10月24日にアメリカで株価の大暴落が始まり、1920年代半ばにフロリダ州で不動産ブームが起こりました。それは、アメリカの中流層の方々が裕福になるのは「神のおぼしめし」と当時の時代の空気を乱したのが、最初のアメリカのバブルがありました。そして、アメリカ人は不動産バブルの崩壊を経験したにもかかわらず、すぐ次に、また株のブームに手を出しました。それはアメリカ人が手取り早く金持ちになるには、強い欲望からなっておりました。過去の投機ブームにはなんらかの仕掛けがあり、フロリダの不動産の時には、初めて手付け証券のようなものが出ました。そして株ブームの時にも信用取り引きが始まり、それが投機の原因になりました。投機というのは、誰でも金持ちになれると皆に伝わっていきました。



バブルが弾け損をすると、もう投機はごめんだという風に思いますけど、人間は少し経つと忘れてしまいます。「喉もと過ぎれば、熱さ忘れ・・・」また、すぐに投機にはります。富の不平等、持ち株会社による運営、脆弱な銀行、経営コンサルタントや経営学者による投機をそります。今でも同じようなアメリカの大暴落はアメリカ人の性格によるもので、投機の誘いに乗りやすい国民性と、それに対する政策が打てない政治が原因だと考えられます。景気が良い時に、もう少し締め、普通の景気軌道に導くことが遅れてバブルがはじけてしまいます。これは、日本でもアメリカも同じことがおきています。

現在、日本では予算が通るか、通らないかを行っていますが、ここでも政治はあと、あの状態になっていると思いました。

これをもちまして本日の会長挨拶といたします。

幹事報告

・他クラブの例会変更等は別紙幹事報告の通りです。



長田豊治幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数80名(内出席免除者15名の内出席者8名)出席者58名

出席対象者 58／80名	出席率 73.42%
欠席者22名(病欠者1名)	前々回修正出席率 94.67%

〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

平岩統一郎君 良い事が有りました。

木村 徳雄君 本日の講師の石原好実氏を紹介します。宜しくお願ひします。

杉田 茂君 毎日、唇をかんで頑張っています。良い事が有ります様に、先に入れておきます。

卓話

「へきなん芸術村について」

碧南市教育文化振興課長、碧南市芸術文化ホール館長、碧南市図書館館長
石原好実氏



私は、図書館は2年目になりますが、芸術文化村、芸術文化ホールはこの4月から担当になりますのでよろしくお願ひいたします。

本日は、碧南芸術文化ホールのPRを冊子にてご説明させていただきます。

へきなん芸術文化村について

平成21年2月25日(水)

午後1時～午後1時30分

碧南商工会議所

1 へきなん芸術文化村施設概要

碧南市制45周年記念として、芸術文化情報の発信拠点の市民図書館、芸術文化ホールの複合施設。

碧南市民図書館・碧南市芸術文化ホール

敷地面積 10,926.76m²

延床面積 9,099.78m²

図書館棟 4,327.11m²

ホール棟 4,725.21m²

総工費(用地含む) 約75億円

(1) 市民図書館

本館 藏書能力 40万冊(開架 15万冊 閉架 25万冊)

開館時間 午前9時～午後7時(土・日、祝日は午後5時)

分館 南部分館・中部分館

藏書能力 各4万冊

開館時間 午前9時～午後7時

① 子ども読書活動推進計画(平成17年12月策定)

基本方針

1 家庭・地域における子どもの読書活動の推進

2 学校等における子どもの読書活動の推進

3 図書館における子ども読書活動の推進

② 図書館サービス計画(平成19年3月策定)

基本方針

1 豊かな情報源としての図書館

資料の充実

デジタル資料の収集、外国語の資料

2 個々の利用者の求めに応じたサービスを提供できる図書館

児童・ヤングアダルトサービス・シニアサービス

障害のある方へのサービス

3 地域の文化を大切にする図書館

郷土資料の充実

4 利用しやすい図書館

レファレンスサービスの充実・ホームページの充実

5 市民とともに歩む図書館

ボランティアグループとの連携

(2) 芸術文化ホール

芸術文化ホールには452席のエメラルドホール、316席のシアターサウス、スタジオなどがあり、エメラルドホールは、公立の室内音楽専用ホールとしては県下でも屈指の音響特性をもつホールです。

また、シアターサウスは、演劇、舞踊、音楽、講演会など多目的なニーズに対応できるホールです。スタジオは、フォーラム側の扉を開けると野外ステージとしても利用できます。

① エメラルドホール (生音専用のコンサートホール)

客席/固定席452席(身障者席4席を含む)、親子室

舞台/間口約16メートル奥行約8メートル高さ約11メートル

ピアノ/4台(ヤマハ、カワイ、スタインウェイ、ベーゼンドルファ)

照明/調光卓(負荷回路:101回路)

② シアターサウス (多目的ホール)

客席 / ロールバックの可動席256席と取付け可動席60席

舞台 / 間口16メートル奥行9.8メートル

前迫り(奥行3メートル)・後迫り(奥行6.8メートル)舞台の高さ1メートル・70センチメートル・30センチメートル舞台を客席床面までおろしたときのホールの大きさ16メートル×22メートル

吊物設備/ ライトバトン13本、美術バトン10本、引割幕帳幕1対、袖幕3対、スクリーン兼用ホリゾント幕1枚

音響設備/ 音響調整卓24ch、ワイヤレス4ch、カセットデッキ2台、テープレコーダー1台、CDプレーヤー2台、袖卓6チャンネル、CDプレーヤー1台、カセットデッキ1台

照明設備/ 調光卓(負荷回路:218回路)

映写設備/ 16ミリ映写機1台

③ スタジオ

美術バトン2本、ライトバトン2本、引割幕1対、ピアノ1台、姿見(3.6m×2.2m)1面、音響調整卓



次回例会案内 平成21年3月11日（水）
卓話「百才の片言」岡島良平氏